

ベートーヴェンのピアノ・ソナタ全32曲及び初期作品集(全9巻)のCDで2015年度オランダのエディソン賞、ドイツ・レコード批評家賞という2つの世界的権威のある賞を獲得したフォルテピアノ演奏の第一人者ロナルド・ブラウティハム。風貌も現代にベートーヴェンが甦ったかのようだが、この演奏には本当に圧倒される。

その彼に「この楽器は最高です。“博物館のレプリカ”というより、“魂”をもつ唯一のフォルテピアノです。私は彼の楽器が18世紀後半に生きたアントン・ヴァルターの精神を引き継ぐ唯一の楽器であると本当に信じています」と言わしめるのが今回の来日公演で使用される楽器。チェコの名匠マクナルティが2002年に製作した1800年頃のフォルテピアノをモデルにした楽器である。

## ロナウド・ブラウティハム (フォルテピアノ) Ronald Brautigam - Fortepiano

オランダでもっとも尊敬される演奏家のひとり。アムステルダムとロンドンでピアノを学び、アメリカでルドルフ・ゼルキンに師事。1984年オランダ政府より音楽分野でもっとも名誉あるオランダ・ミュージック・プライズを受賞。デュトワ、ハイティンク、ブリュッヘン、ヘレヴェッヘ、ホグウッドなどの著名な指揮者のもと、主要なヨーロッパのモダン、ピリオド両方のオーケストラと定期的に共演してきた。次第にフォルテピアノ演奏に情熱を傾けるようになる。

1995年からスウェーデンのBISレーベルと提携し、これまでにフォルテピアノでのモーツァルトとハイドン、ベートーヴェンのピアノ曲全集など60以上のタイトルをリリースしている。BIS以外にもデッカ・レーベルで、シャイー指揮ロイヤル・コンサートヘボウ管弦楽団とショスタコーヴィチ、ヒンデミットなどのピアノ協奏曲、パロット指揮ショピング交響楽団とのモダン・ピアノでのベートーヴェンの協奏曲シリーズなどの録音もある。これまでエディソン賞、ディアパソン・ドール賞、カンヌのMIDEMクラシカル・アワード2010など著名な賞を多数受賞している。

2009年からはウィレンス指揮ケルン・アカデミー・オーケストラとフォルテピアノによるモーツァルトのピアノ協奏曲全曲シリーズで、11枚のCDをリリース。5年かけて3台のフォルテピアノを作品に応じて弾き分けたベートーヴェンのピアノ・ソナタ全集(BIS SA2000/9枚組)が、2015年ドイツ・レコード批評家賞とエディソン賞をダブル受賞。

現在、精力的に演奏活動を行なっているほか、バーゼル音楽大学の教授を務めている。



[当日の使用楽器]  
フォルテピアノ  
Anton WALTER (1800年頃)  
[製作者]  
PAUL McNULTY (チェコ) 2002年作  
Unequal temperament, A-430

## ? “フォルテピアノ”と現代のピアノ、何が違うの?

### ◆大きさ

モーツァルト、そしてベートーヴェンがまだ若い頃に使用していた楽器は、現在私たちが目にする黒いグランドピアノよりもずっと小さく、また一つ一つ手作りでした。ザルツブルクのモーツァルトの生家を訪ねると、真っ先にかわいらしい茶色のピアノが目に入りますが、人々はみな「モーツァルトはこんな小さな楽器を弾いていたのか」と驚きの表情を浮かべます。鍵盤の数も今の88鍵に対して60鍵余りと少なく、音域は狭いものでした。

### ◆構造と特徴

基本的に木材が使われ、現代のピアノのように金属のフレームはありません。楽器が軽く、弦も張力が低く、弦をたたくハンマーにはフェルトではなく、鹿革が使用されたりしました。こうしたことが音量では現代のピアノにかなわないとしても、音色のニュアンスの豊かさでは勝るとも劣らない魅力を創り出すのです。これは楽器だけの話ではないかもしれませんが、技術の進歩が必ずしも万能ではなく、「何かを得るとそれと引き換えに何かを失う」というものなのです。

### ◆ペダル(ダンパー)

現代のピアノはペダルを踏みこんで弦の響き止め(ダンパー)を開放することで、音を豊かに響かせます。このフォルテピアノでは鍵盤のすぐ下についているレバーを膝で持ち上げることで同じ効果をもたらすことができます。演奏中、ピアニストの足の動きにもご注目を!

### ◆調律

現代のピアノはラの音を440ヘルツ、もしくは442ヘルツにすることが一般的ですが、モーツァルトやベートーヴェンの時代のウィーンでは430ヘルツが多かったようです。当時は基準の音の高さが時代や地域によってもバラバラで、その土地ごとに固有の音程と音色が存在していたのです。

宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

## 宗次フレンズ 会員募集

会員登録していただいたフレンズ会員様は  
一般発売より先行してチケットをご購入頂けます

## 会員登録・年会費 無料

詳しくは、宗次ホール(052-265-1715)までお問合せ下さい。

交通アクセス  
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分

くらしの中にクラシック

  
**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~18:00  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)